



令和3年中の県内の 交通事故死者数過去最少！



交通事故発生状況

死者数	26人（-14人）	※負傷者数、重傷者数、発生件数は
負傷者数	2,222人（-103人）	速報値、（）内は令和2年との比較
重傷者数	208人（-50人）	※死者数は、統計が残る昭和31年
発生件数	1,943件（-82件）	以降で過去最少

～交通死亡事故の特徴～

- 幹線道路（国道、主要地方道、県道）の割合が高い 17人（前年比-7人 構成率65.4%）
- 高齢者（65歳以上）の割合が高い 14人（前年比-7人 構成率53.8%）
- 歩行者の割合が高い 11人（前年比-1人 構成率42.3%）

※10月以降の3か月で、年間の死者数全体の半数を上回る14人の方が亡くなっています。

今年最初の交通死亡事故が発生（1月6日発生）



交差点内での出会い頭事故に注意！

～出会い頭事故は、昨年発生した事故の4分の1以上を占めている～

- 信号のない交差点では、「交差道路から車が進行してくるかもしれない」と危険予測しましょう。
- 信号機のない交差点を通行するときは、前方左右の視野を広げ、状況に応じた安全な速度と方法で進行しましょう。
（一時停止規制がある場合は、必ず停止線手前で停止し、安全確認を徹底しましょう。）
- 交差道路側に一時停止規制がある場合でも、不測の事態に対応できるよう安全確認をしっかり行いましょう。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県をまたぐ不要不急の移動は極力控えましょう。
※ワクチン、検査パッケージの適用者は除く